

かわらばん

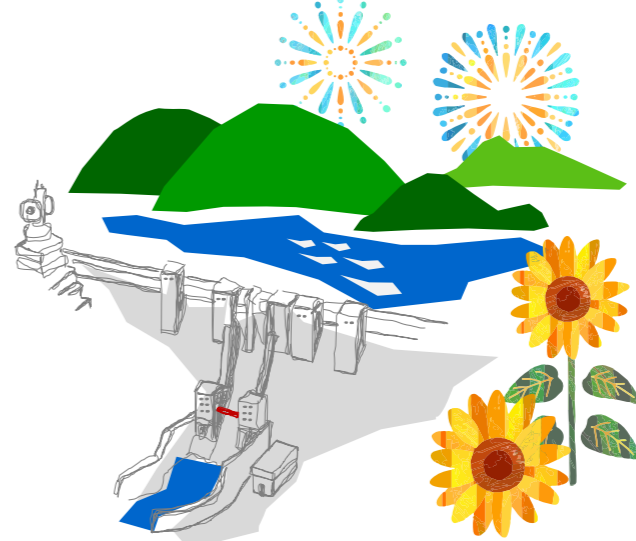
ひとくみ

令和三年(2021年)
7・8月合併号
Vol.21

水がささえる豊かな社会
独立行政法人
水資源機構
一庫ダム管理所

一庫ダムの公式ダムカードとオリジナルのプライベートダムカード(夏バージョン)を配布中!

今月の一庫ダム



●雨量、貯水池状況、流況

7月の月雨量(ダム流域平均雨量)は233.9mmで、
平年215.3mmに対し
約109%の雨量でした。

一庫ダムの下流河川の状況は、利水基準地点虫生(むしゅう)へ13日間、
約207万³mを補給しました。

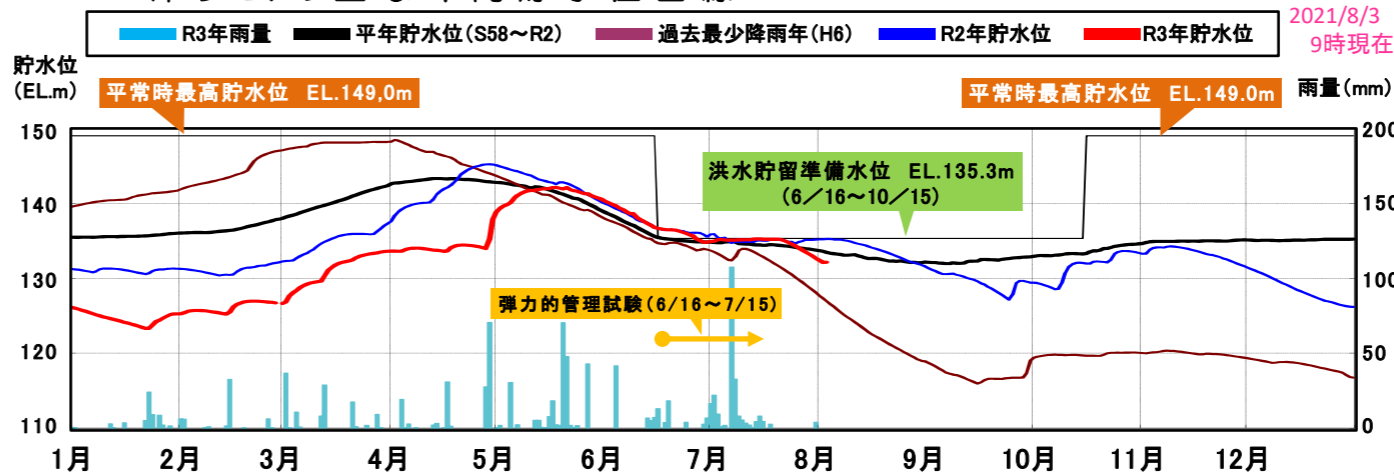
8月2日現在の貯水率は約82.3%です。

貯水池の状況 (R3.7.21撮影)

貯水位 EL. 135.15m



一庫ダムの主な年間貯水位曲線



Topics

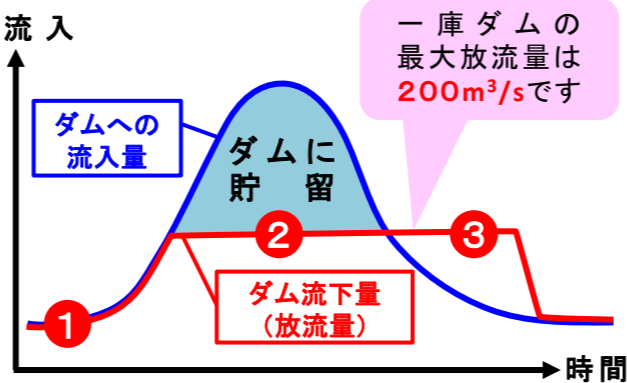
一庫ダムの

洪水時の防災操作

1

8月に入り暑い日々が続いていますね。これからは台風シーズンに入りますので、ダムの大きな役割である「洪水調節」についてご紹介します。昨年6月号でも紹介していますので併せてご覧ください。

洪水調節は、台風や大雨の時にダムへ流れ込む水の一部を空き容量(ポケット)に貯め込み、ダム下流域の洪水被害を軽減する操作のことです。一庫ダムでは、ダムに入る水の量が毎秒200³mになるまでは、ダムに入ってきた水と同じ量を放流し、毎秒200³mを超える水の量をダムに貯め込む操作を行います。

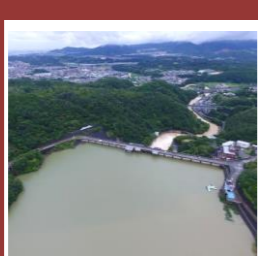


ここでワンポイント
豆知識です!

- ①ダムに入る水の量が毎秒200³mになるまではダムに入ってきた水と同じ量を放流することを「すりつけ操作」といいます。
- ②ダムに入る水の量が毎秒200³mを超えた時に、ダムから流す水の量を毎秒200³mで固定することを「一定量放流(いっぺいりょうほうりゅう)」といいます。
- ③ダムに入る水の量が毎秒200³mを下回ったあとに貯水位を下げる操作を「後期放流(こうきほうりゅう)」といいます。

ダムの洪水吐ゲートから放流を行うと普段よりも多くの水が川に流れます。洪水吐ゲートからの放流を行う前には警報局のサイレンやスピーカーを鳴らしますので、絶対に川には近づかないください。

平成30年7月豪雨時の一庫ダムの状況



▲ダム貯水池 貯水位 EL.148.27m (H30.7.7撮影)

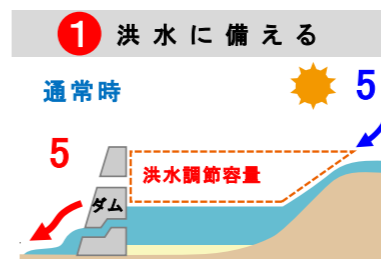
ダムに貯め込める水の量には限界がありますので、ものすごい大雨が降って、通常の洪水調節ではダムが満杯になる時には、「緊急放流」と呼ばれる異常洪水時防災操作を行うこととなります(一庫ダムでは平成30年7月豪雨の時に管理開始以降、初めて緊急放流を行いました)。



雨の多い季節に、あらかじめ貯水位を下げて洪水を貯めるための容量を確保しています。



大雨の後の貯水池は洪水を貯めた分、水位が高くなっているので、次の洪水に備えて、下流の川の状況を見ながら貯めた水を放流します。



大雨の後の貯水池は洪水を貯めた分、水位が高くなっているので、次の洪水に備えて、下流の川の状況を見ながら貯めた水を放流します。

※図中の数字は流れている水の量(単位:毎秒m³)



利水基準点(虫生地点)の場所



ツイッターでも情報やお知らせをいち早く発信しています!
@jwa_hitokura



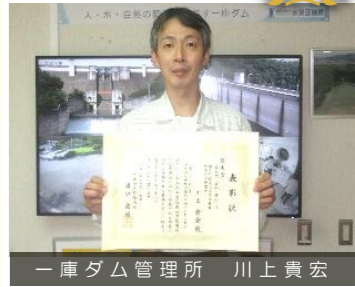
実際の警報音やサイレンの音を確認してみよう。

緊急効果音



サイレン





一庫ダム管理所 川上貴宏

6月24日(木)、25日(金)に行われた令和3年度近畿地方整備局研究発表会において、当管理所の川上貴宏が発表した「一庫ダムにおける洪水調節機能の強化に向けた取り組み」が、発表力テゴリー「一般部門(安全・安心)Ⅱ」18課題の中から優秀賞3課題の一つとして表彰を受けました。

あゆのぼり

「アユ」が空を泳いでいます

写真に写っているものは何か分かりますか?こいのぼりの様に見えますが実はこれ、「あゆのぼり」なんです。猪名川漁業協同組合とダム職員が協力して、アユの豊漁、新型コロナウイルス感染症の沈静化を願い、一庫



R3.07.28 町道から撮影



R3.07.27 遊歩道から撮影

よく見ると、希望の書きが!

「あゆのぼり」
「あゆのぼり」
「あゆのぼり」

大路次川上流の龍化吊橋の下流に設置しました。知明湖では、近年数多くの陸封化アユも確認されており、おいしいアユが元気づけたい育つことを願っています。

至能勢町



至川西市

空芯菜・知明湖へ!

5月末に能勢小学校5年生の皆さんと空芯菜の種時きをしてからはや2ヶ月が過ぎました。空芯菜は、先生や児童の皆さんのお世話のおかげですくすく成長し、15cmほどになりました。そこで、もっと大きく成長できるように、ダム貯水池での水耕

栽培をするため、6月末に児童の皆さんから成長した空芯菜を預かり、今はダム貯水池に浮かびながら、夏の太陽の光をいっぱい吸収して(ダム貯水池の栄養分も吸収)大きく成長していきます!

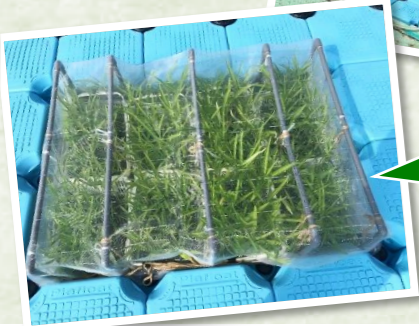


ダム湖での水耕栽培開始!

30cmほどに成長!!
(そろそろ1回目の収穫かな?)

空芯菜を台船へ

空芯菜を預かります



たに 溪のサクラを守る会さまと エドヒガンの生育状況確認

【溪のサクラを守る会】

平成19年(2007年)より、エドヒガンの調査や保護活動を始めとする活動を続けられています。



「鹿の食害」鹿は柔らかい新芽を好んで食べるため、サクラの苗木の芽や皮を食へてしまいます。

6月中旬に「溪のサクラを守る会」の皆様、昨年植樹したエドヒガンの生育状況を確認していただきました。「順調に育っている」とのことと、私たちも一安心しました。ただ、以前設置した鹿よけの網が成長とともに手狭になっていたので、7月以降、週に1回一庫ダムにお越しいただき、鹿除けの網を広げていただきました。それに合わせて、水分が蒸発しにくくなるよう表面を腐葉土で覆う作業(マルチング)なども行っていたいただきました。これでまた、大きく成長してくれることと思います。



腐葉土でマルチング

「溪のサクラを守る会」の皆様には、作業の合間にエドヒガンの見分け方、枝の選定方法、水のやり方など様々なことをご指導いただいております。私たちも少しずつ知識を増やし、エドヒガンの成長をサポートしていきたいと思っております。

季節の行事 & 活動報告

▼第15回流水ペインティングを開催しました。

8月1日(日)、知明湖キャンプ場にて第15回流水ペインティング大会を実施しました。夏の日差しが降り注ぐなか、熱中症対策を取りながら、7家族27人の参加者に思い思いに流水ペインティングを楽しんでいただきました。出来上がった作品はすべて芸術品。青い空の下、芝生の上に作品を並べると、周りの自然と相まって、素敵な自然の美術館となりました。ペインティング終盤には毎年恒例(?)の「人体ペインティング」も始まり、時間いっぱい楽しんでいただけました。最後はみんなで美化活動。会場周辺のゴミ拾いを行いました。



今年もステキな芸術作品が生まれました

恒例(?)となりつつある、人体ペインティング

今回も、昨年度と同様に1家族1テントを使用してソーシャルディスタンスを確保するなど、コロナウイルス感染症対策を実施した上で開催しました。また、参加者の皆様にも、検温やマスク着用、手指消毒といった感染症対策にご協力いただきました。ありがとうございました。



きれいなグラデーションや海を連想する作品も!



独立行政法人 水資源機構
一庫ダム管理所

〒666-0153
兵庫県川西市一庫字唐松4番地の1

TEL:072-794-6671

FAX:072-794-0590

